

開催日時：2023 年 6 月 23 日（金）16 時 20 分～16 時 50 分
開催会場：昭和大学上條記念館 東京都品川区旗の台 1-1-20

<総会の成立>

司会者東田修二庶務担当常任理事より、現地参加者 57 名および委任状 329 通をもって、定款 17 条の定める定足数(議決権を持つ会員 598 名の三分の一以上)を満たしたため、本会の成立が報告され開会が宣言された。
定款 15 条により、議長はベ谷直人理事長が務めることとなった。

<審議事項>

第一号議案 議事録署名人の選任

定款第 18 条 2 項による議事録署名人の選任につき、議長が 2 名を提案し議場に諮ったところ満場異議なく、次の通り選任された。

議事録署名人 千葉 泰彦 先生
同 諏訪部 章 先生

<報告事項>

1.2022 年度事業報告（2022 年 4 月～2023 年 3 月分）

東田修二庶務担当常任理事より資料に基づき報告があった。
当該年度特有の活動として、要覧 2022 年度版の発行および役員選挙が挙げられた。

<審議事項>

第二号議案 2022 年度決算の承認（2022 年 4 月～2023 年 3 月分）

増田亜希子会計担当常任理事より、資料の正味財産増減計算書について報告説明があった。人件費、印刷費、通信費などが予算を大きく上回っているが、2022 年度は事務局の引継ぎ業務があったことや 4 年に 1 度の要覧発行などによるもので、次年度以降赤字は縮小されることが見込まれるとの補足説明があった。
続いて、古川泰司監事より添付の監査報告書に基づき、4 月 24 日に日本臨床検査専門医会事務局において、東條尚子監事とともに、東田修二庶務担当常任理事、増田亜希子会計担当常任理事同席のもと事業報告および決算報告について、定款 38 条通りに監査を行った旨の報告があった。事業報告については特に問題がないことを確認した。決算報告については、帳簿、証憑類、通帳等を突き合せたうえで確認をしたが、こちらも適正に行われていること残高に相違ないことを確認した。議場に在席した東條尚子監事からも同様の報告があった。以上の報告後に、決算報告の承認について議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

第三号議案 2023-2024 年度理事・監事の承認

本定時社員総会の終結時に、現行の理事全員、監事全員が定款 23 条に基づき、任期満了し、退任することになるので、改選の必要があることが説明され、資料の通り、選挙理事候補者、指名理事候補者、監事候補者が提示され、議長が議場に諮ったところ満場異議なく、承認された。次期役員は理事 17 名、監事 2 名体制。

1.理事候補者

1).選挙理事

尾崎 敬
鯉淵 晴美
幸村 近

紀南病院中央臨床検査部
自治医科大学臨床検査医学
北海道医療大学医療技術学部

重任

谷 直人	国際医療福祉大学熱海病院検査部	重任
田部 陽子	順天堂大学大学院医学研究科	重任
福地 邦彦	昭和医療技術専門学校	重任
増田 亜希子	虎の門病院分院臨床検査部	重任
松下 一之	千葉大学医学部附属病院検査部	重任
村上 正巳	群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学	重任
山田 俊幸	自治医科大学臨床検査医学	重任

2).指名理事

浅井 さとみ	東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学	重任
植木 重治	秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座	重任
北中 明	川崎医科大学検査診断学（病態解析）	重任
橋口 照人	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野	重任
藤井 聡	北海道大学病院検査・輸血部	重任
山崎 正晴	奈良県立医科大学附属病院中央臨床検査部	重任
山田 鉄也	社会医療法人厚生会中部国際医療センター	重任

2. 監事候補者

菊池 春人（済生会横浜市東部病院臨床検査科）	2023-2026 年度
【継続】	
東條 尚子（三楽病院検査科）	2021-2024 年度

〈報告事項〉

2.各委員会活動報告

1).情報出版委員会(委員長：福地邦彦)

例年の活動である、LabCP(Laboratory And Clinical Practice), JACLaP News の発行, JACLaP WIRE の配信, ラボ(日本衛生検査所協会広報誌)の専門医会頁担当の他,「日本臨床検査専門医会要覧 2022」を発行した。

2).教育研修委員会(委員長：田部陽子)

メインの活動である教育セミナーについて報告する。今年 75 名の受講がありオンデマンド開催を行った。基本的に専門医を目指す方たち向けに行っており、先生方の協力を得ながら今後も多くの方々に参加していただき会員も増やしていきたい。

3).資格審査・規定改定委員会(委員長：菊池春人)

名誉有功会員の選出に関する内規を策定し、理事会へ提出した。また、同候補者を選出し、理事会へ推薦した。また、理事の任期延長についての審議を理事会に提出した。また、今年度 45 名の入会希望者があり、全員の入会資格審査を行い、理事長へ承認依頼した。

4).広報ネットワーク委員会(委員長：五十嵐岳 代理：庶務担当常任理事東田修二)

レジデントノート(羊土社)の掲載、霞が関子供デー等、検査医学会との共催によるハンズオンセミナー等担当した。議場より、広報ネットワーク委員会眞鍋委員から、今年初めから運用開始されたネットワーク BBS の情報共有を目的とした積極的な活用について依頼があった。また、レジデントノートの書籍化について検討している旨の報告があった。

5).渉外委員会(委員長：横崎典哉 代理：庶務担当常任理事東田修二)

2022 年 7 月に臨床検査振興セミナーを WEB 開催した。125 名の参加があり、開催後アンケート結果は好評だった。また、2022 年度「全国検査と健康展」を共催し、全国 5 県へ医師の派遣をした。2023 年度臨床検査振興セミナーは 7 月 27 日～8 月 10 日の期間オンデマンド配信で開催を予定している、共通講習・領域講習の単位取得可能である。今年度も「全国検査と健康展」が開催された場合、会員へ出務協力を依頼する予定。

6).保険点数委員会(委員長：松下一之)

現在、令和 6 年の診療報酬改訂を臨床検査医学会と共同で行っている。主に薬事承認を受けた検査の加点・増点や、新規項目について検討している。2023 年度からは名称を保険点

数・データシステム委員会と改称し、データの共有化、例えばマイナンバーカードの紐づけ等についても検討をしていきたい。

3.第3回年次大会について

来年は尾崎敬大会長(紀南病院)のもと、2024年6月29日・30日、和歌山県田辺市にある紀南病院看護学校で開催が予定されている。時期的に混雑が予想されるため、早めにホームページを立ち上げて、広報していきたい。タイトルの「ワークライフバランス」について熊野地方の名士南方熊楠を例にあげ、説明した。懇親会では、記念館館長の講演を予定。

4.理事任期の延長

第2回理事会にて、資格審査規定改定委員会から理事の任期延長について、現行定款施行細則第11条1項により「理事は連続して3期を超えてその任に留まることはできない」とあるが、4期すなわち最長8年に延長するとの提案があり、理事会承認された。議場より、いつから適用されるかとの質問があった。議長より細則は理事会承認で変更可能なため、6月23日より有効となり、一般社団法人になってからの役員在籍年数がカウントされると説明があった。

5.教育研修委員会規則の変更

教育研修委員会規程第2条4項に日本臨床検査医学会学術集会開催時に日本臨床検査医学会と共催するシンポジウムの企画・開催をするとあるが、同委員会に限らず行うこととするため、規定から本条項を削除することが理事会承認された。

その他、

議場より、総会案内議事・資料について郵送だけではなく、当日会場での配布が要求された。聞くだけでは理解しがたいので文書化して示すよう提言があった。

〈閉会〉

すべての審議、および報告が滞りなく終了したため、閉会が告げられた。総会終了後、別室にて新理事会を開催し、理事長を選出する。時間がある方は残っていただき、報告をすとの案内あった。

議事録署名人

2023年 7月 12日

谷 直人 印

2023年 7月 12日

諏訪部 章 印

2023年 7月 13日

千葉 泰彦 印